

さまざまな面接と支援に家族療法を活かすには

— 個人・親子・父母面接・支援をどうすすめるか —

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会(ワークショップ)」の承認を受けております。<承認期間:2022年7月2日~2027年7月1日 承認番号:20210392>

期 日: 2024年7月28日(日)

受講対象: 心理・福祉・教育の現場に携わっている方、心理・福祉・教育専攻の大学院生、
その他家族療法に興味のある方

定 員: 80名 (定員になり次第締切りますので、ホームページなどでご確認ください)

受講料: 8,500円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主 催: 公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

会 場: 明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします

東京都豊島区高田3-19-10

JR山手線、西武新宿線、東京メトロ東西線「高田馬場駅」より徒歩7分

いま、未来を背負う子どもたちに様々な形で危機が訪れています。新型コロナウイルスのもたらせた悪影響もその一つでしょう。それにより、子どもたちだけでなく、その生育に直接かかわっている親や教育者たちも危機に直面しているだけでなく、これまで相談機関や医療機関で対応してきた不登校、ひきこもり、暴力、いじめ、非行などの問題に、さらなる厳しい追い打ちがかけられ、育児不安、児童虐待、中高年のうつ、DV、離婚などの問題も倍増していると聞きます。

さらには、あろうことか海外では戦禍も起きている今日、私たちは、未知の経験に共に取り組んでいくために、これまでもまして親子、父母、学校や職場で日常を過ごす人々が相互理解と関係性を強め、共に目の前の出来事に対応し、支え合って生きていくことが求められています。

本講座では、家族が日常生活の中で体験する個人、親子、父母、家族全員の関係性の問題の理解と取り組みについて、家族療法が積み上げてきた知恵を紹介します。さらに、心理臨床職はもちろん、医師、看護師、保育士、教師、家庭裁判所調査官、ケースワーカー、法律家などの専門家が連携・協働して関係性の支援にかかわる道を探りたいと思います。

【企画講師:駒澤大学文学部心理学科 教授 藤田 博康】

【プログラム】

*カリキュラム・休憩時間等が変更になる場合があります。

時 間	テ ー マ	講 師 (敬称略)
10:00~11:50	家族関係の理解と 支援のための基本的考え方	駒澤大学文学部心理学科 教授 藤田 博康
11:50~12:50	昼 食 (各自おとりください)	
12:50~14:40	夫婦(父母)面接の考え方と進め方	明治学院大学心理学部心理学科 教授 野末 武義
14:55~16:45	親子並行・親子合同面接に 関係性の視点を活かす	日本女子大学カウンセリングセンター 専任研究員(教授待遇) 北島 歩美